

外務省所管 平成 29 年度補正予算（第 1 号）における「個別プロジェクトにイヤマークした任意拠出金」の成果目標一覧

アジアにおけるテロ・暴力的過激主義対策支援
（主にコンセプト・ノートに基づく暫定版）

（注意事項）

- ① 現段階の成果目標は、暫定的に外務省限りで作成したため、今後、相手国政府または国際機関等からの最新の情勢等に基づいた要請により、内容に変更が生じる場合がある。
② 追加予算額は「億円」単位とし、原則としてそれぞれ小数点第 2 位を四捨五入によっているため、端数において合計とは合致しないものがある。

イヤマーク拠出金で補正 予算措置される案件名	事業概要	実施国際機関 [追加予算額の総合計]	成果目標 （暫定版）
アジアにおけるテロ・暴力的 過激主義対策支援	難民問題を含む人道・テロ対 策・社会安定化支援	国際連合薬物犯罪事務所 （UNODC） [合計 18.9 億円]	テロ対策と組織犯罪対策の両分野を網羅的に所掌する唯一の国連機関として、その専門的知見を活用し、アジア地域におけるテロ対策能力向上（テロ資金対策、国境管理、刑事司法・法執行、海上安全、サイバー犯罪対策等）及び暴力的過激主義対策（外国人テロ戦闘員対策、女性・青年の能力構築等）のための支援を実施する。
		国際連合開発計画 （UNDP） [合計 9.6 億円]	学生、若者、教師等に焦点を当て、暴力的過激主義に対抗するための教育の役割の強化、異宗教間対話の促進、若年層の強靱性の補強等を支援するほか、暴力的過激主義における人身取引の脆弱性に対抗するための能力構築支援等を実施する。
		ジェンダー平等と女性のエン パワメントのための国 連機関 （UNWomen） [合計 8.8 億円]	国連システムのジェンダーに関する取組を主導する機関の専門的知見を活用し、女性の脱過激化を支援するほか、テロ及び暴力的過激主義対策における女性の役割に焦点を当て、コミュニティの強靱性と社会的団結を強化し、暴力的過激主義の脅威を減少させるため、女性のエンパワメント、能力向上を支援する。
		国際連合テロ対策センター （UNCT） [合計 2.0 億円]	テロ対策のデータベースを保有する国連組織の知見を活用し、テロリストのプロパガンダやリクルートへの耐性を強化するための若者支援、受刑者の管理及び脱過激化支援、外国人テロ戦闘員等によるソーシャル・メディアの悪用に対する当局関係者の能力向上支援を実施する。
		国際刑事警察機構 （ICPO） [合計 1.3 億円]	外国人テロ戦闘員（FTF）の移動を防止、国境で阻止するため、法執行機関職員等に訓練を施し、インターポールのデータベースの活用、情報共有の促進等を支援する。また、インターポールのデータベースへのアクセスを拡大するための機材提供等を実施する。
		コミュニティの働きかけ及 び強靱性に関するグロー バル機関 （GCEF） [合計 1.1 億円]	バングラデシュにおいて、現地 NGO と連携し、地元コミュニティにおける異なる思想・イデオロギー等を受け入れる包摂性の向上、コミュニティと政府との対話促進等を行い、地域・草の根レベルで暴力的過激主義の拡大の防止を図る。
		国際連合テロ対策委員会執 行事務局 （CTED） [合計 0.3 億円]	国連安全保障理事会の決議の要請に基づく、重要施設の保護に関する啓発、テロリスト及び外国人テロ戦闘員の生体情報の共有及び活用の促進、また、テロリストによるインターネット、ソーシャル・メディアの悪用対策支援等を実施する。